

# 四国の観光ビジョン

## ～『四国～Shikoku～』ブランドの認知度向上～

(2026年度～2030年度)

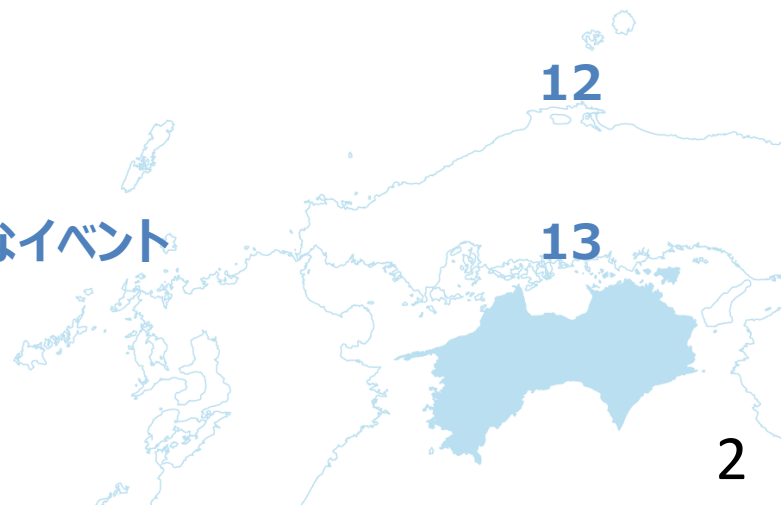
(一社)四国ツーリズム創造機構  
四国経済連合会  
四国アライアンス

2026年3月30日



# 目次

1. 四国の観光ビジョン改定のねらい 3
  2. 四国の観光ビジョン 4
  3. 取り組み指針・重点推進項目 5
  4. 2030年度に向けた重点実行計画と事業推進方法 7
  5. 推進体制 12
- [参考資料] 今後5年間に予定されている主なイベント 13



# 1. 四国の観光ビジョン改定のねらい

## 四国観光の現状

- 四国(Shikoku)の認知度の向上
  - 他地域にない独自の魅力が評価されているものの、依然として認知度に課題。
- インバウンドの伸長と国内誘客の伸び悩み
  - 今後もインバウンドは増加が見込まれる一方、国内観光客は長期で伸び悩み。  
→新しい「旅」の提案
- 観光事業者の恒常的な人手不足

## 今後の動き(チャンス)

- 観光庁「観光立国推進基本計画(第5次)」  
《目指すべき2030年の姿》  
戦略産業として、日本の魅力・活力を次世代にも持続的に継承・発展させていく観光  
《施策の柱》
  - ① インバウンドの戦略的な誘客と住民生活の質の確保との両立
  - ② 国内交流・アウトバウンド拡大
  - ③ 観光地・観光産業の強靱化
- 観光需要の平準化、観光事業の高付加価値化などによる安定的な人材確保

## ビジョン改定のねらい

- 四国観光を巡る環境変化をチャンスと捉え、以下をねらいに改定
- ・ 観光関係組織が目指す方向性の共有による一体的取組の推進
  - ・ 連携と役割分担による周遊型広域観光の推進

## 2. 四国の観光ビジョン

### 四国観光の将来像

#### 『四国～Shikoku～』ブランドの認知度向上

～「四国～Shikoku～」ブランドの認知度向上が、地域住民の生活向上(住んでよし)、観光客の増加(訪れてよし)、地域経済の活性化(商いもよし)につながっている～

### 2030年度に向けた 指針・重点推進項目

#### <取り組み指針>

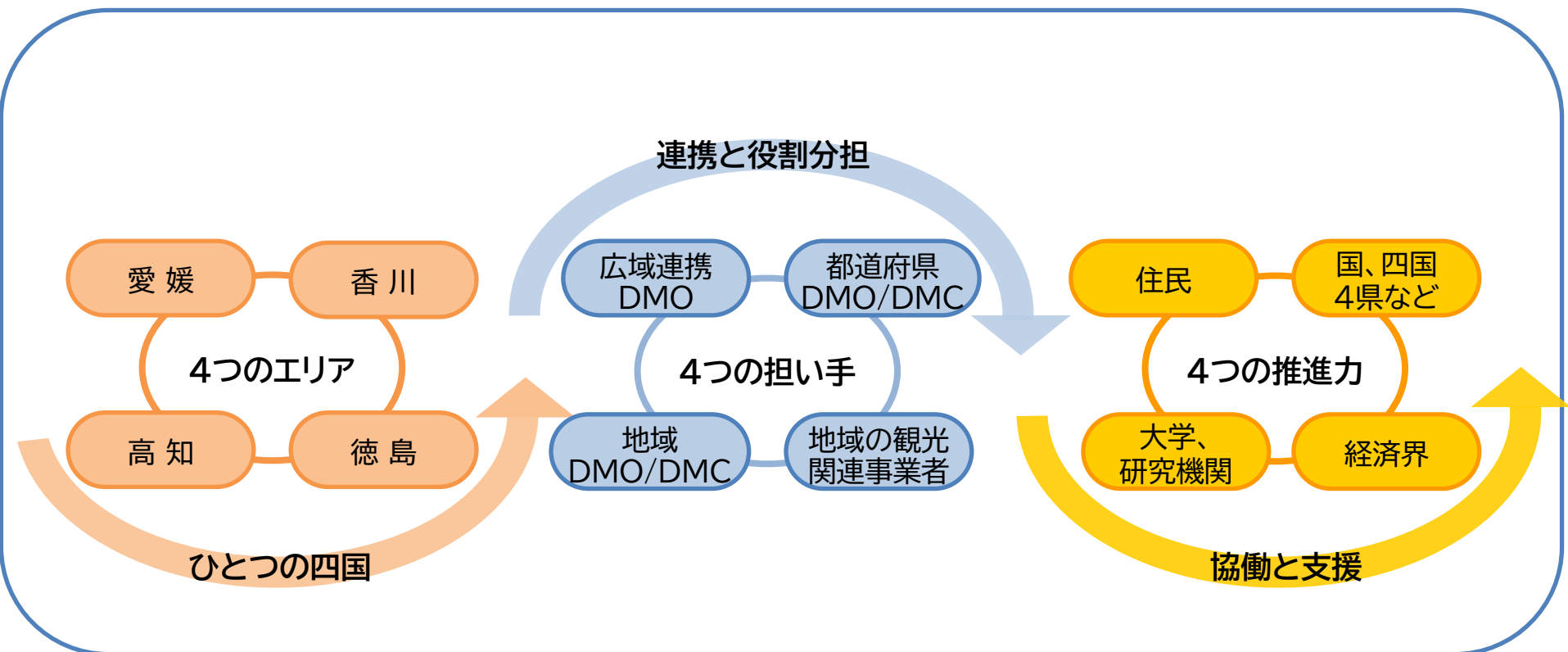
繋がる 広げる 未来を拓く

#### <重点推進項目>

- ① 地域・組織の一体的な連携と協働
- ② 観光コンテンツの広域組成と販売促進・マーケティングのDX化
- ③ 地域固有の自然・文化を紡ぐサステナブルツーリズムの推進

### 3. 取り組み指針・重点推進項目

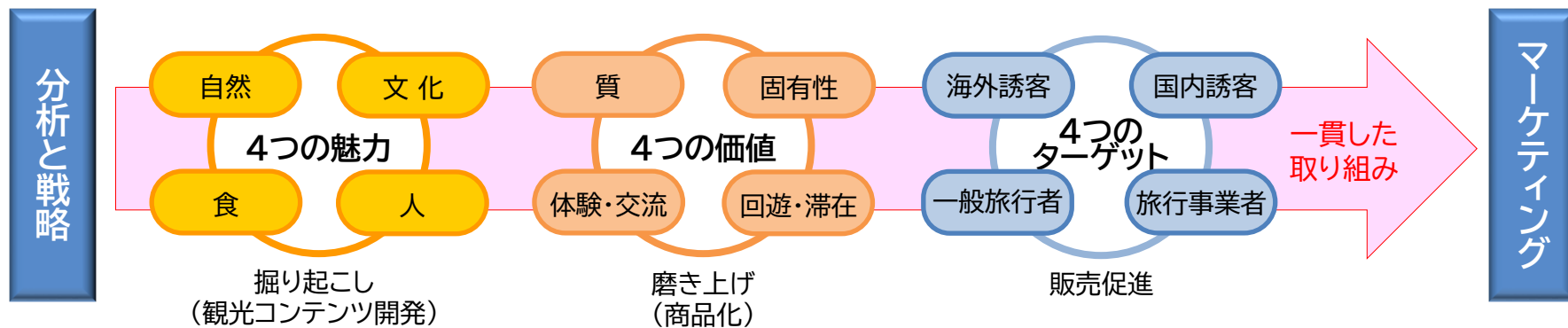
#### 【繋がる】地域・組織の一体的な連携と協働



- ・ 個性豊かな4つのエリアを1つの地域としてブランディング
- ・ 地域観光の推進に取り組む4つの担い手の連携と役割分担
- ・ 担い手の連携と役割をそれぞれの分野で協働・支援

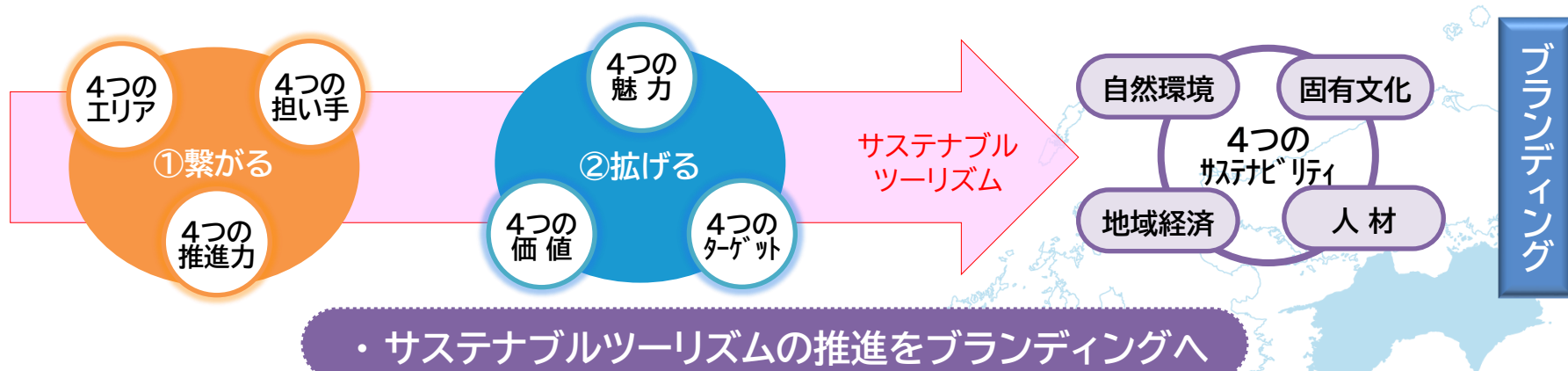
# 3. 取り組み指針・重点推進項目

## 【拡げる】観光コンテンツの広域組成と販売促進・マーケティングのDX化



- ・ 地域資源を地域間競争力の源泉となる固有性で観光素材化
- ・ 市場のニーズを踏まえた商品・サービスとしての付加価値付け

## 【未来を拓く】地域固有の自然・文化を紡ぐサステナブルツーリズムの推進



# 4. 2030年度に向けた重点実行計画と事業推進方法①

## 重点実行計画1

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
繋がる 事業者間のネットワークづくり	<p>[域内関係団体や周辺エリアとの連携]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>四国域内の地域や組織の一体的な連携と協働</li> <li>中国、関西など周辺エリアとの連携推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四国域内の一体化による四国ブランドの確立と観光付加価値の向上</li> <li>周辺エリアからの誘客拡大による四国観光の底上げ</li> </ul>

### 【あるべき姿】

- 四国ツーリズム創造機構(以下、四ツ創)が旗振り役となり、域内のDMOや関連事業者・組織等との間で戦略、課題等の情報共有を継続させ、**連携強化と役割の明確化を通じて一体的に観光振興策が展開**  
[協力]四国運輸局、四国経済産業局、四国4県等の自治体

### 《四ツ創KPI》

- ・ 一人当たり旅行消費額
- ・ 延べ宿泊者数
- ・ 外国人の来訪満足度

### 【具体的な実行計画】

- ・ 「四国DMO連携会議」の枠組みの拡大及び活用による、四国一体となった周遊型広域観光の推進  
[四経連、四アラ参画](2026年～2030年)

### 【あるべき姿】

- 2030年の大阪での統合型リゾート開業も見据え、**周辺エリアと連携した周遊型広域観光が実現**できている。  
[協力]周辺エリアの経済団体や広域連携DMO(せとうち観光推進機構、関西観光本部、山陰インバウンド機構 等)

### 《四ツ創KPI》

- ・ 日本語HP 表示回数、総ユーザー数
- ・ 多言語HP 表示回数、総ユーザー数
- ・ Instagramフォロワー数

### 【具体的な実行計画】

- ・ 大阪IRと同じ夢洲にて開催された大阪・関西万博における四国の誘客施策の振り返りと他地域を含めた成功事例の調査(2026年)
- ・ 関西、中国エリア等と連携した共同事業・誘客促進の更なる展開・深化(2026年～2030年)

# 4. 2030年度に向けた重点実行計画と事業推進方法②

## 重点実行計画2

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
拡げる 価値の 磨き上げ	<p>[観光コンテンツの広域組成]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>地域固有の観光コンテンツの質や固有性の磨き上げ、広域的にまとめることによる商品化の推進</li></ul> <p>〔【例】四国遍路、アドバンチャーツーリズム、サイクルツーリズム、ジオツーリズム、ガストロノミーツーリズム、産業観光 等〕</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>魅力ある広域的な観光コンテンツの確立</li></ul>

### 【あるべき姿】

□ 四国域内の共通・類似する観光コンテンツを結び纏め、**広域的に周遊観光できる仕組みを構築**

〔協力〕観光庁、日本政府観光局(JNTO)、四国家サポーターズクラブ※、四国4県等の自治体、四国内のDMO等

### 《四ツ創KPI》

- 一人当たり旅行消費額
- 延べ宿泊者数
- 外国人の来訪満足度 等

### 【具体的な実行計画】

- 四ツ創が、四アラ、四国内DMO等と協力しながら、視察ツアー誘致の実施やガイド育成等を通じ、広域での観光コンテンツの造成・磨き上げ・販売促進を引き続き推進(2026年～2030年)

※四国家サポーターズクラブ:四国の地域振興・観光振興に志を持つ企業や団体等が集い、協働して賑わいを創出することを目的に、2021年3月に設立

# 4. 2030年度に向けた重点実行計画と事業推進方法③

## 重点実行計画3

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
拡げる 販促活動の 更なる強化	<p>[国内外への販売促進に向けたプロモーションの強化]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>SNSや各種メディアを活用した効果的な誘客、販売促進活動の展開</li><li>海外商談会や旅行博への共同出展</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>四国の観光ブランドの向上</li><li>国内外からの観光客の更なる誘致を実現</li></ul>

### 【あるべき姿】

- 新たな四国旅のあり方を提案し、四国(Shikoku)の観光ブランドを定着させている。
- 誘客・販売促進活動の実効性を高めるため、SNS等を活用した情報発信を通じ、国内外へのプロモーションが有効に機能している。

[協力]観光庁、日本政府観光局(JNTO)、四国4県等の自治体、四国内のDMO等

### 《四ツ創KPI》

- ・ 日本語HP 表示回数、総ユーザー数
- ・ 多言語HP 表示回数、総ユーザー数
- ・ Instagramフォロワー数 等

### 【具体的な実行計画】

- ・ 広域周遊型の観光コンテンツについて、情報発信で四ツ創、四アラが協働し、周遊型観光への誘客を拡大(2026年~2030年)
- ・ 四国観光・旅アプリ「しこくるり」の機能拡充による利用拡大に向けた検討、実施[四経連、四アラ協力](2026年~2030年)
- ・ 四ツ創、四アラによる、海外商談会や旅行博への共同出展(2026年~2030年)

# 4. 2030年度に向けた重点実行計画と事業推進方法④

## 重点実行計画4

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
拡げる データ分析、 業務効率化に よる販促活動 の充実	<p>[デジタルマーケティングの充実と最新技術の導入による業務改革]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• DMP(データ・マネジメント・プラットフォーム)等、データの有効活用によるマーケティング活動の充実</li><li>• AI等の最新技術を導入した業務の効率化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>• DMP等の有効活用により、検証可能な販売促進を実現</li><li>• 業務の効率化が実現し、販売促進に注力できる環境を整備</li></ul>

### 【あるべき姿】

- 販促活動の結果の可視化・分析により、デジタルマーケティングが有効に機能している。
- 域内の観光関連事業者の業務効率化が進展し、各事業者の発展に寄与している。

[協力]四国4県等の自治体、四国内のDMO等

### 《四ツ創KPI》

- 一人当たり旅行消費額
- 延べ宿泊者数
- 外国人の来訪満足度
- DMP年間ユーザー数 等

### 【具体的な実行計画】

- 各県、各DMOによるデータ活用、DMP構築に向けた支援(2026年～2030年)
- 四国内のDMO、観光関連事業者の最新の技術、データの導入及び活用に関する、国・県等による支援に向けた提言、要望〔四経連・四アラ参画〕(2026年～2030年)

# 4. 2030年度に向けた重点実行計画と事業推進方法⑤

## 重点実行計画5

指 針	実行計画	期待されるメリット・ねらい
未来を拓く 四国ブランド の確立	<p>〔人材育成・「持続可能な観光」への取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"><li>四国観光の将来を担う人材の育成</li><li>「持続可能な観光」推進への取り組み</li><li>四国一体のPRのためのキャッチコピーとロゴマークを新たに制作</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>観光関連の人材育成を通じた、定住増や四国のブランディングへの貢献</li><li>「持続可能な観光」の国際認証取得による四国のブランディングの推進</li><li>四国の住民のシビック・プライドの醸成</li></ul>

### 【あるべき姿】

- 3者が協働し、四国観光の将来を担う人材が育っている。
- 自治体や各組織が「持続可能な観光」の実現に向けた取り組みを推進し、「住んでよし、訪れてよし」の地域づくりが実現している  
〔協力〕観光庁、四国4県等の自治体、四国内のDMO、大学等

### 《四ツ創KPI》

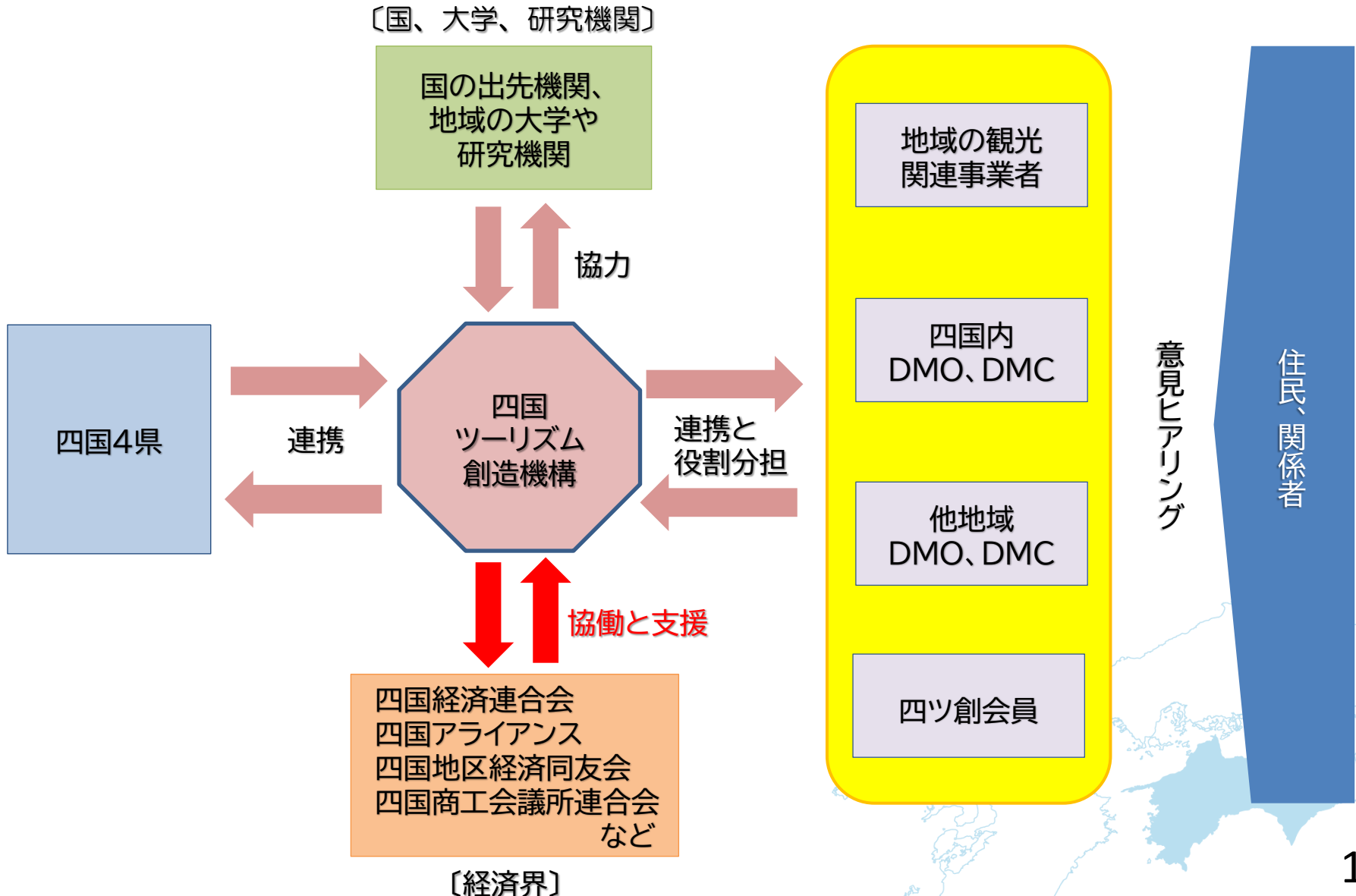
- ・ JSTS-Dロゴマークの使用許諾団体数
- ・ 国際認証取得地域(累計) 等

### 【具体的な実行計画】

- ・ 香川大学での公開講座による地域社会への観光業界の理解の深化と、四国内の他大学等への水平展開を図る〔四経連・四アラ参画〕(2026年～2030年)
- ・ 2022年度に設立した「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」の枠組みをさらに拡大し、自治体、DMOへの啓発活動を強化(2026年～2030年)
- ・ 国際認証取得を目指す自治体を後押しし、更なる自治体の認証取得を目指す(2026年～2030年)
- ・ 観光関連事業者への「持続可能な観光」に向けた啓発活動を推進(2028年～2030年)

# 5. 推進体制

## 「四国ツーリズム創造機構」を扇の要とする四国の観光ビジョン推進体制



# 【参考資料】 今後5年間に予定されている主なイベント

	四国域内	四国域外
2026年度	第76回全国植樹祭えひめ2026(5月、愛媛県) サイクリングしまなみ2026(10月、今治市) よさこい高知文化祭2026(10月～12月、高知県)	FIFAワールドカップ アメリカ・カナダ・メキシコ大会(6月～7月)
2027年度	大鳴門橋自転車道開業(予定、徳島県鳴門市) 「Velo-city(自転車国際会議)2027」(5月、松山市) 第11回「山の日」全国大会(8月、香川県)	「ワールドマスターズゲームズ2027関西」 [※徳島県も開催地](5月) 2027年国際園芸博覧会(3月～9月、横浜市)
2028年度	第78回全国植樹祭高知2028(春、高知県) 瀬戸大橋開業40周年(4月) 瀬戸内国際芸術祭(春・夏・秋会期:100日超) 逆打ちお遍路 [※2028暦年] えひめ文化祭2028(秋、愛媛県)	ロサンゼルスオリンピック・パラリンピック[夏季](7月～8月)
2029年度	しまなみ海道全線開通30周年(5月)	フランス・アルプスオリンピック・パラリンピック [冬季](2030年2月～3月)
2030年度		「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成目標年 2030年リヤド国際博覧会(サウジアラビア、10月～2031年3月) 統合型リゾート「大阪IR」開業予定(秋頃) FIFAワールドカップ 100周年記念大会